



長年にわたる功績をたたえ表彰 自治功労者表彰式

町では、11月24日に令和3年度自治功労者表彰式を町役場で開催しました。長年にわたり町政の向上発展に貢献された19人に薄町長が表彰状や感謝状を贈り、その功績をたたえました。

式では、薄町長が「長年にわたって各分野で尽力され、町政発展への功績に対し、町民を代表し衷心より敬意と感謝の意を表します」と式辞を述べた後、町議会を代表して清野佐一議長があいさつしました。

その後、出席した受賞者の皆さん一人一人に薄町長が表彰状や感謝状を贈り、長年の功績を表彰しました。

式の最後には、功労表彰を受賞した渡部雅二郎さん（左写真）が「このような表彰を受けることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も健康なうちは町の発展のために微力ながら力を尽くしていきたいと思えます」と謝辞を述べました。

令和3年度 表彰者・感謝状贈呈者 [敬称略]

自治功労者表彰

■ 功労表彰 [社会福祉、慈善事業、保健衛生等に貢献]

前町老人クラブ連合会長 渡部 雅二郎
前西会津町授産場理事長 渡部 健二
前町社会福祉協議会副会長 大堀 一衛



■ 善行表彰 [町政の向上発展に貢献]

エスオーインターナショナル株式会社(宮城県仙台市)
代表取締役 佐藤 悟
株式会社飯豊建設(西会津町)
代表取締役 斉藤 等
八ッ橋設備株式会社(会津若松市)
代表取締役 八ッ橋 善朗
株式会社あいづダストセンター(会津若松市)
代表取締役 一重 卓男

感謝状贈呈

■ 自治区長永年勤続者

青坂自治区長
端村自治区長

[10年勤続]

三留 儀行
加藤 浩一

■ 納税貯蓄組合長永年勤続者

下野尻第一組合納税貯蓄組合長
下野尻第七組合納税貯蓄組合長

[20年勤続]

佐藤 忠正
菊地 久美子

■ 自治区長永年勤続者

原町8自治区長
程窪自治区長
屋敷自治区長
戸中自治区長

[5年勤続]

新澤 光男
新田 康弘
伊藤 優一
長谷川 賢一

■ 納税貯蓄組合長永年勤続者

横町納税貯蓄組合長
横町第四納税貯蓄組合長
十ノ四納税貯蓄組合長
向原納税貯蓄組合長

[10年勤続]

伊藤 五月男
渡邊 昇二
佐藤 百子
鈴木 始



議案13件を審議・可決 12月町議会定例会報告

12月3日から8日までを会期に開かれた令和3年第8回町議会定例会では、条例の一部改正、令和3年度補正予算など、議案13件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項 報告から

協働のまちづくり推進委員会・まちづくりデザイン会議・町若手職員による合同活動報告会
「協働のまちづくり推進委員会」は、町総合計画の推進にあたり、町民の皆さんの自発的な参画により、町民主体の協働のまちづくりを一層推進するため設置し活動しています。具体的には、まちづくりを自分事として捉え、自ら行動するという意識を高め、小さくても成果を出す目標を持ち、主体的に取り組みを企画・実現する活動を行っています。

また、7月に設置しました「まちづくりデザイン会議」については、町中心部の野沢・尾野本地区を区域とした「中心エリア整備構想」の策定に向け、まちなかに不足している機能の発掘・機能強化等に対する町民の幅広い意見の反映を図り、町民主体の協働によるまちづくりを一層推進するため、本年度から活動しています。

一方、町若手職員においては、行政課題が複雑化する現代で地方公共団体職員として町の未来を創造し、形成していく人材が求められている中、行政経営やまちづくりの視点から町に内在する問題・課題を適切に把握し、解決策



▲ 合同活動報告会

を自ら見出し、実行できる人材育成を目指した政策形成能力向上研修を実施してきました。

この3つのメンバーが集まり、情報共有や取り組みの連携を図るとともに、町民と行政による協働のまちづくりの機運をさらに高めることを目的に、11月20日、合同活動報告会を開催しました。

報告会では、活動する13グループがそれぞれ取り組んできた内容などの中間報告を行いました。町では、こうした町民の皆さんの取り組みの実現に向けて、引き続き支援していきます。

ふるさと応援寄附金
ふるさと応援寄附金については、多くの皆さんのご支援により、11月末現在で、4297件、9387万9千円の寄附がありました。

また、企業版ふるさと納税については、11月末現在で、2件、1100万円の寄附をいただきました。

今冬の除排雪対策

雪処理支援隊については、本年度は11月に雪処理支援対象者を調査したところ37世帯となる見込みであり、対象世帯の除排雪を迅速に支援していくことで、冬期間の安心を引き続き確保していきます。また、除排雪費用助成については、非課税の75歳以上の高齢者世帯や障がい者世帯等を対象に助成するものです。助成額は年間1万円、申請により給付券を交付します。なお、この除排雪を行う事業者は、町内の事業所や個人事業主等を募集し、現在132事業者を登録しています。合わせて、除排雪事業者を紹介し

てほしいという問い合わせが数多くあることから、登録事業者で公表を希望した除排雪事業者について、広報紙やホームページ、「雪の相談窓口」などで周知を図っていきます。

新型コロナウイルスワクチン接種

町の新型コロナウイルスのワクチン接種については、今年4月19日に医療従事者を対象に開始し、その後、順次国が示す優先順位により接種を進め、集団接種会場での接種については65歳以上の高齢者が7月30日に、12歳から64歳までは10月9日に、それぞれ終了しました。

また、ワクチン接種率は、7月1日現在で町に住民登録している12歳以上の5619人の90・7割にあたる5097人が2回目の接種を終了しています。

現在、国では2回目の接種終了から8カ月が経過した人から順次、3回目の追加接種を実施するとしています。町

としても、3回目の接種を希望する人が安全に接種を受けられるよう、鋭意準備を進めていきます。

令和3年度産米の作柄とモニタリング検査

農林水産省による10月25日現在発表の米の平均作況指数は全国で「101」の「平年並み」の見込みとなり、県内では会津と浜通りで「100」、中通りが「101」で全国と同様、「平年並み」となりました。

水稲の作柄については、8月中旬以降の低温や日照不足などの影響が懸念されましたが、会津よつば農協への米の出荷状況を見ると、本町の一等米比率は11月11日現在で96・4割となっています。

また、米の放射性物質検査につきましても、本町では早期出荷米が9月14日から始まり、11月9日には全ての出荷の自粛が解除され、西会津産米の安全・安心が確認されました。

鳥獣被害防止対策
例年同様、今年もツキノワグマの出没情報が寄せられ、現地調査をした上で必要に応じて、追い払いや捕獲を行うなど、被害防止に取り組んできました。11月30日現在の熊の捕獲数は11頭で、出没の多かった前年の同時期と比較し、63頭減少しています。

また、イノシシについては、稲の踏み倒しや畦畔の掘り起こしなどの被害が町内各地で発生していますが、町で進めている電気柵設置への補助支援により、対策を講じた農地においては被害が抑えられている状況です。なお、今年30人増員した鳥獣被害対策実施隊と連携し、捕獲に取り組んだ結果、11月30日現在で19頭を捕獲しました。

全国学力・学習状況調査のCBT化に向けた実証校
文部科学省では、GIGAスクール構想により整備した児童生徒1人1台端末を活用し、小学6年生と中学3年生を対象に毎年行われている全

国学力・学習状況調査について、CBT（コンピュータ・ベースド・テスト）化として従来のテスト用紙への筆記方式から、パソコンやタブレットによる出題・解答する調査への移行を、令和6年度から順次進める方針です。

その移行に先駆け、本年度からCBT化の試行・検証が実施されることになり、全国の小・中学校各50校程度の実証校に、小学校では県内で唯一、西会津小学校が選定されました。

11月1日に本年度の試行・検証が行われ、児童たちは端末を利用した初めての学力調査で慣れないためか戸惑いもありましたが、支障なく実施できました。

また本調査や、ふくしま学力調査の将来的なCBT化に対応するため、タブレット端末に接続して使用するキーボードを購入し、ローマ字を学習する小学4年生からキーボード入力ができるよう整備しました。

町では、引き続き、児童生

徒の学習環境の充実を図っていきます。

可決された議案

◆町税条例の一部改正
令和3年度税制改正に伴う特定払った場合の医療費控除の特例に係る所要の改正

◆町国民健康保険条例の一部改正
産科医療補償制度の見直しに伴う出産育児一時金の増額に係る所要の改正

◆町国民健康保険条例の一部改正
国保加入世帯に属する未就学児童への税額減額措置の追加に伴う所要の改正

◆町消防団設置等に関する条例の一部改正
消防車両配備の見直しおよび部・班の統廃合等に伴う条例定数の削減に係る所要の改正

◆令和3年度一般会計補正予算（第5次）
新型コロナウイルスワクチン接種の3回目の実施に係る経費や、子育て世帯臨時特別給付金に係る経費など

1億1014万8千円を増額

◆令和3年度特別会計等補正予算（国民健康保険・介護保険特別会計、水道・下水道事業会計）

◆西会津町こゆりこども園の管理に係る指定管理者の指定

◆西会津町老人憩の家の管理に係る指定管理者の指定

◆西会津町林業研修センターの管理に係る指定管理者の指定

◆教育委員会教育長の任命への同意
江添信城さん（9町内2）の任命に同意



冬を迎え、除雪作業スタート 除雪事業出動式

12月1日、町除雪センターで令和3年度除雪事業出動式が行われました。式では、技能員を代表して新郷除雪ステーションチーフの福地信雄さんが「町民の皆さんの生活のために安全で事故のないように取り組んでいきます」と決意表明を行ったほか、除雪車両の点検を行い、降雪時の出動に備えました。



自力での雪処理が困難な世帯を支援 雪処理支援隊出動式

町では、雪処理支援隊を本年度も設置し、その出動式を12月1日に町役場で行いました。式では、隊員を代表して渡部秀満さんが「支援が必要な皆さんが安心して地域で暮らせるよう、万全の体制で取り組んでいきます」と宣誓の言葉を述べました。

雪処理支援隊は、自力での除雪が困難で、家族や集落からの支援を受けることが難しい世帯の除雪支援を令和4年3月31日まで行います。



雪による事故防止のため関係機関で連携 雪害対策本部を設置

町では、雪の事故や交通障害などの雪害から町民の皆さんの生活を守るため、雪害対策本部を12月1日に設置しました。

対策本部では、雪崩発生危険箇所の巡視パトロールや、落雪による事故や雪下ろし中の事故防止のための啓発活動など、雪による災害予防に向けて活動を行います。大雪や雪害が発生する恐れがある場合などは、ケーブルテレビや防災行政無線、町ホームページなどで情報をお知らせします。



▲ 看板を掲げる薄町長と渡部町民税務課長

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆ 大きさ 1 枠当たり縦 4.0 cm × 横 8.5 cm
- ◆ 掲載料 1 枠当たり 5,000 円 / 月

〈問い合わせ先〉
企画情報課 広報広聴係 ☎ 45-4536

長年の社会福祉への取り組みに対し表彰 県社会福祉大会 受賞報告

11月5日、第75回福島県社会福祉大会が相馬市民会館で開催されました。町からも多くの皆さんが表彰され、中でもトライアングルの会が第29回瓜生岩子賞を受賞しました。トライアングルの会は平成15年に創設され、精神保健福祉ボランティアとして障がいのある人たちが地域で暮らしやすくなるように活動している団体です。

同18日、トライアングルの会の齋藤信子さんと県知事表彰を受けた町民生児童委員協議会長の伊藤哲雄さんと野菊の会の山形洋子さんの3人が町役場を訪れ、薄町長に受賞を報告しました。

薄町長は「長年にわたる社会福祉活動が認められたのは大変嬉しいこと。受賞された皆さん、本当におめでとうござります」と祝福の言葉を贈りました。



▲ 瓜生岩子賞・トライアングルの会

◆ 瓜生岩子賞とは

瓜生岩子は現在の喜多方市出身で、孤児救済のための育児院や貧困者向け済生病院の開設などに献身的に取り組み、本県の社会福祉事業の先駆者と言われています。その精神にふさわしい社会福祉に功績のあった個人・団体を顕彰する賞が「瓜生岩子賞」です。



▲ 県知事表彰（個人）・伊藤哲雄さん



▲ 県知事表彰（団体）・野菊の会

各種統計の啓発や円滑な調査に尽力 県統計協会名誉会長表彰伝達式

12月10日、福島県統計協会名誉会長表彰伝達式が町役場で開催されました。本表彰は、通算で7年以上、国勢調査などの統計調査業務に従事した指導員または調査員が対象で、今回、町からは9人が表彰を受けました。

式では、大竹享副町長が受賞者一人一人に表彰状を伝達し、「多年にわたる統計業務へのご尽力に心から感謝申し上げます。今後とも統計業務へのご理解とご協力をお願いします」とあいさつしました。

◆ 受賞者 [敬称略]

矢部征男（松峯）、武藤喜平（柴崎）、三留智篤（西平）、長谷沼朝子（小清水）、薄定雄（井谷）、佐藤健一（橋立）、星敦志（極入）、目黒哲三（牛尾）、田崎吉和（長桜）

